

# 賃金を考える

2014年5月7日

クローバー・アセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 多根幹雄

安倍政権になって、自民政権にしては珍しく『賃金を上げろ』と呼びかけたせいかは兎も角、本当に久々に賃金アップの期待が生まれています。円安と輸出品に関する消費税還付で潤っている<sup>注</sup>大企業のサラリーマンの賃上げは当確として、もともと仕事がきつかった建設、介護、外食等々の業界が人手不足で悲鳴を上げている状況なので、こちらも可能性があるでしょう。ある牛丼チェーン店などは、社員が集団で退職したために、多くのお店を『改装中』と偽って閉めざるを得ない状況にまでなっているようで、当然賃金や待遇の見直しが行なわれることになるのでしょうか。

海外から来た人が一様に驚くのが、日本の外食、特にランチの安さと質の高さです。特に大都市での外食は世界中どこも高く、都市によっては東京の3倍くらいのところもざらめです。正直、私は日本の良さとして一番アピールしていた点ですが、考えてみればこのような安くて質の高いランチは、結局のところ質の高い人材を低賃金で雇用可能だったからこそ実現できていたことで、ある意味自慢できることではないかもしれませんね。

スイスにいたころ、ポルトガル人のおばさんに週一回事務所の掃除をお世話になっていました。彼女の時給は24スイスフラン、今のレートだと約2,800円にもなります。この話を日本ですると「ずいぶん高いね」とびっくりする人が多いですし、そういう私自身も物価が高いスイスの弊害の一つだと思っていました。しかし、掃除という仕事は不人気な面があり、それを安い賃金でやってもらおうというのがそもそもおかしいのかも知れません。スイスでは彼女たちもある程度の収入が確保できるので、結果として皆が比較的豊かな生活が出来るということになります。

日本では公衆トイレの掃除を、ずいぶんご年配の人がやってくれている光景をよく目にします。若い人が働くには条件が悪すぎるのでしょうか。戦後他の国に無い日本の良さとして、圧倒的な中産階級の厚みや、仕事による差別が無い社会であることがあげられてきました。インドのように、仕事を見ればカースト（階級）がわかる社会とは違い、イエローハットの創業者の鍵山秀三郎氏のようにトイレ掃除を率先して広めている経営者もいるくらいで、これは日本の他にない良さといえるでしょう。この機会に、皆が嫌がる仕事でも快くやってくれているという感謝を込めた賃金にしてはと思います。

団塊の世代が65歳を超えてきたこと、日本の企業がぎりぎりまで贅肉をそぎ落として来たことを考えると、今後、アルバイトや人材派遣、それに契約社員として一生懸命厳しい環境で頑張ってきた人たちには良い時代になるかもしれません。その結果が物価高だとしても、皆が豊かな社会の方が良いと思いますがいかがでしょうか。

クローバーも5月6日から新事務所で心も新たに再スタートしました。地下から地上三階に移転し、窓からはさわやかな新緑が見え、皆元気良く頑張っております。東京駅からも近く、銀座のすぐ隣ですので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

注) 詳しくは岩本沙弓著「アメリカは日本の消費税を許さない」文芸春秋をご覧ください。

## ファンド概況

基準価額	13,126円	純資産総額	492百万円
設定日	2008年4月22日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

## 期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.37	2.04	5.40	16.42	41.40	31.26

## 分配金(円)

直近3期を表示			
4期 ( '12/2/27 )	5期 ( '13/2/25 )	6期 ( '14/2/25 )	累計
0	0	0	0

## 基準価額と純資産総額の推移



## 運用コメント

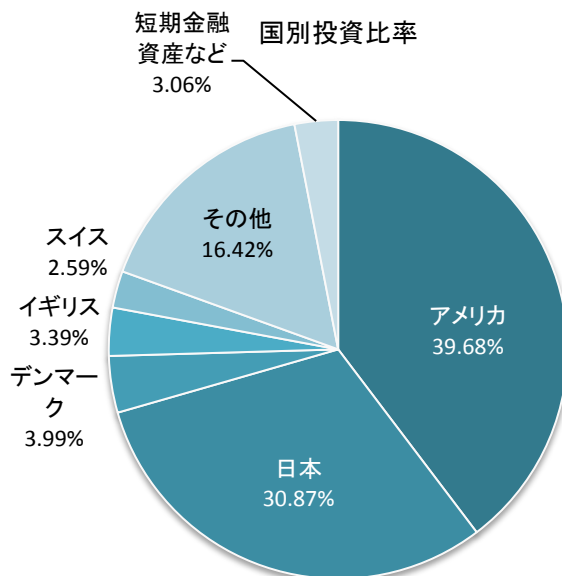
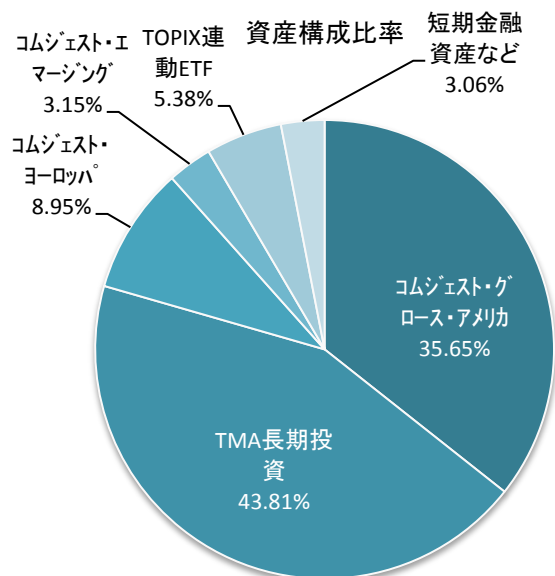
日経平均は4月も変化の大きい推移となりました。前半の米国市場の落ち込みにつられて、当初大きく落ち込み、その後やや回復したものの、14,000円台前半での低迷が続きました。

多くのメディアでは、いっこうに鎮静化のめどが立たないウクライナ情勢、中国経済の減速懸念、さらに、日本では消費税増税による消費の落ち込み不安など、不安定化を促進する要素を指摘しており、また、オバマ大統領のアジア歴訪も結局、日本において、中国との領土問題に関する牽制はあったものの、目新しい政治的進展は見られず、アベノミクスの第3の矢に対する失望感も漂ってきているとの報道から、年初の強気一辺倒から弱気の論調が増えてきています。

しかし、そうした状況の中、企業の積極的な姿勢が一段と鮮明になってきています。政府の後押しもありましたが、多くの企業が業績の改善の成果を、従業員に還元し始めています。日経新聞によると大手企業の今春の労使交渉の賃上げが16年ぶりの高水準となったということです。賃上げ率も前年(1.91%)を大きく上回り2.39%で15年ぶりに2%を超えました。企業が採用にも前向きになってきていて、むしろ人材の確保が難しいという状況になっているようです。

こうした中、かいたくファンドは、4月については前月比-0.37%と不本意な成績でした。われわれの判断としては、昨年前半の日銀の想定外の量的緩和を伴う異常な上げ相場の反動が現在も続いていると考えており、一方で着実に相当数の企業業績も順調に回復してきていることを考えると、中期的には、株式市場もやがて本格的な上昇に向かうと考えております。ただ、企業の選別がさらに強まると想定しておりますので、個別株ファンドの組み入れ調整をしながら、チャンスがあれば積極的な買いを考えています。

## ポートフォリオの状況



## かいたくファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数: 146銘柄)

順位	銘柄名	事業内容	組入比率	組入れファンド名
1	Johnson & Johnson	製薬ヘルスケア部門で世界第2位	1.89%	コムジエスト・グロース・アメリカ
2	Comcast Corporation Class A	アメリカ合衆国最大のケーブルテレビ局	1.85%	コムジエスト・グロース・アメリカ
3	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.75%	TMA長期投資
4	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマークの酸素メーカー	1.58%	TMA長期投資
5	Microsoft Corporation	世界最大のコンピューター・ソフトウェア会社	1.57%	コムジエスト・グロース・アメリカ
6	NOVO NORDISK A/S-B	デンマークに本社を置く糖尿病ケアの世界的リーディングカンパニー	1.53%	TMA長期投資
7	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	1.53%	TMA長期投資
8	シマノ	バイク、釣具、ボート等を製造	1.53%	TMA長期投資
9	Medtronic, Inc.	AEDなどの医療機器メーカー	1.50%	コムジエスト・グロース・アメリカ
10	Nielsen N.V.	世界的な情報・調査会社で、マーケティング及び消費者情報等に関連した分野でリーダー的地位を確立。	1.50%	コムジエスト・グロース・アメリカ

## ファンドの特色

### ①「世界投資」

当ファンドは、運用資産を長期的に大きく成長させるため、日本だけでなく成長を続ける世界へ投資を行います。世界へ投資することで、世界経済のダイナミックな成長の恩恵を得ることが可能となります。

### ②「分散投資」

当ファンドは、為替変動や政変・戦争など世界の株式市場に投資した場合のさまざまなリスクを抑えるために複数のファンドに投資を行うファンド・オブ・ファンズの投資手法を利用することで、国、地域、銘柄、産業などを分散し、時間(投資するタイミング)も分散します。

### ③「長期投資」

当ファンドは、短期的な運用成績の追及は目標とせず、長期的な運用リターンを最大化することを追求します。具体的には長期的な価値以上に割安となった国、地域、銘柄、産業などを投資対象とするファンドへの投資を行い長い時間軸で運用リターンを最大化する「バイ&ホールド」を基本的な戦略をします。但し、株価が割高であると判断した時や時価のボラティリティ(変動)が大きくなると判断した時は、長期的な運用リターンを最大化するために現金比率を最大限高めて基準価額のボラティリティを抑えます。

### ④「世界中から厳選したファンド」

当ファンドは、基準価額の変動を抑え長期間にわたり安定的な成長を行うファンドや、長期間にわたりインデックスを上回るようなファンド、長期的に有望な国、地域、産業などを投資対象とするファンドを厳格な基準に基づいて選別して投資対象のファンドとします。

### ⑤「アセットアロケーション」

当ファンドは、世界の景気サイクルに沿って、投資する国、地域、産業などを大きく切り替えていくことで、資産配分の調整を行います。また、キャッシュも重要なアセットアロケーションのクラスと考えており、マーケット環境によっては積極的にキャッシュ比率を最大限引き上げる場合もあります。

## ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

**投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。**

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

## ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.756%(税抜き0.7000%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.2%(概算)
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理および販売にかかわる資料等に要する諸費用を純資産総額の年率0.108%(税抜き0.10%)を上限として投資信託財産から支払うことができます。 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

## 業務管理部からのお知らせ

### 【ご登録内容の変更はございませんか？】

若葉の緑が目には鮮やかな季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

5月下旬以降、弊社ファンドをお持ちのお客さまのうち、対象となる方に新しい投資信託説明書（交付目論見書）をメール便またはEメールにてお届けいたします。

投資信託説明書（交付目論見書）を皆さまのもとへ確実にお届けするために、ご住所・電話番号・Eメールアドレス等に変更がないか、いま一度ご確認ください。

投資信託説明書（交付目論見書）以外にも、お取引に関する重要な書類や大切なお知らせもございますので、ご登録内容に変更がございましたら、下記の手順にてお手続きをお願いします。

①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。

②「登録事項変更届」にご記入のうえ、ご返送ください。

※弊社ご登録印であることをご確認ください。

※新住所が記載された「ご本人様確認書類」（運転免許証の写し・住民票等）をご同封ください。

③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を送付いたしますので、内容をご確認ください。

なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。

<ホームページの場合>

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

<お電話の場合>

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

### 【「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」の発送について】

「お取引残高報告書 兼 残高照合通知書」を送付いたしました。

今回は、2014年1月～3月末までに、受渡日が到来したお取引をされたお客様と最後のお取引から1年が経過したお客様が発送の対象となっております。

対象となるお客様のうち、残高がある方には、3月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

### 【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成26年6月	受付終了	5月23日(金)	6月5日(木)	6月17日(火)
平成26年7月	6月3日(火)	6月24日(火)	7月7日(月)	7月17日(木)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 (受付時間: 平日9時～17時)

TEL: 03-6262-3923 / E-mail: [gyoumu@clover-am.co.jp](mailto:gyoumu@clover-am.co.jp)

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

**本社移転に伴い、  
電話番号が変わりました。**

**2014年5月7日(水)**

**9:00~**

**03-6262-3923**

**【移転先】**

**〒104-0031**

**東京都中央区京橋三丁目3番4号  
京橋日英ビル 3階**

**ぜひお気軽に遊びに来てください。**

**まだ社名看板が出ておりません。**

**1階は樂茶碗・古美術 宇野商店です。**

**clover**  
asset management